12月定例会 総括質問

主な質問と答弁

臼井 照人 議員

開発予定地内の土地取得問題

問 新聞報道で市長によるツインシティ開発予定地内の農地取得が明らかになったが、この土地では実際に耕作を行っていたのか。

市長 サツマイモやサトイモなどを植え付けていた。

問 生産した作物は市場に出荷していたのか。

市長 この土地で生産したものは市場に出していない。

問 報道に「土地を妻の名義にしたのは資産管理のため」とあるが説明を求める。

市長 これからのことを考えると、分散して取得することも必要と考え、妻の名義とした。

問 新聞には「問題を認識できなかった」とあったが、この「問題」とは何か。

平塚クラブ

市長 親族が土地を購入することで混乱を招いたこと、事業の円滑な進捗に支障を来すおそれについて認識が至らなかったことである。

問 この土地がツインシティ計画予定地内にあると気づいたのはいつか。

市長 平成22年11月以降、市長になる際、計画の必要性をかんがみ認識した。

補助金支出

問 ツインシティ大神地区土地区画整理組合設立準備会に対する補助金の交付者はだれか。

都市整備部長 平塚市が交付する。

問 補助金はだれの利益のために支出するのか。

都市整備部長 補助金交付要綱に基づき、本市のためになる事業を行う団体に支出している。

問 補助金を交付するのが平塚市であり、受け取るのが市長の配偶者を含む地権者による「設立準備会」という構図をどう思うか。

都市整備部長 補助金は個人に支出するものではない。将来の平塚のための準備経費である。

問 国家公務員倫理法には、「公務員は自身や、自身が所属する団体の利益のために行動してはならない」とある。補助金交付の構図に問題はなかったのか。

市長 その法律に当てはまる事例ではないと理解している。

大神地区と交わした合意書

問 新しいごみ焼却施設が本格稼働を始めた。引き続き施設を受け入れていただいた大神地区との合意書の内容を早期に履行すべきだ。焼却施設から発生する熱エネルギーを市民に還元する余熱利用施設の整備の進捗状況を伺う。

環境部長 余熱利用施設は福祉機能と健康増進機能を備えたものとし、平成25・26年度で計画を進める。

問 現在、田村にある相模小学校の移転に関する取り組みと課題を伺う。

環境部長 土地区画整理組合設立準備会に用地として保留地の確保を依頼している。平成24年3月には「移転プロジェクト会議」を立ち上げ、意見交換や情報共有に努めている。課題としては、学区の再編成や学校の規模などがある。

問 病院の誘致に関し、ツインシティ計画地内に進出を予定していた医療機関が進出を見合わせたのではないかと聞いている。この件の経緯の説明を求める。

環境部長 大神地区の悲願である医療施設の設置の約束があることは知っている。現在、準備会と医療関係機関が協議中である。

金子 修一 議員

ツインシティ大神地区土地区画整理事業補助金

問 土地区画整理組合設立準備会への4000万円の補助金の支出に不透明な部分が見受けられる。同組合が開催した地区説明会について説明を求める。

都市整備部長 4回開催し、地権者はそれぞれ10人、18人、39人、11人が出席した。

問 4回の開催に対して400万円の金額を支出しているが、感想を聞きたい。

都市整備部長 出席人数は率直に言って少ないと思う。

問 補助額はなぜ400万円なのか。精査したのか。

都市整備部長 コンサルタントの人件費である。単価や人数は妥当である。

問 人件費は一人当たりいくらと見積もったのか。

都市整備部長 公の資料に基づく金額で、妥当である。単価は手元に資料がないので分からない。

問 事前に質問を通告しているのに答えられないのか。この補助金は同一部署が申請を受け付け、決裁し、出金しているが、このような組織形態でよいのか。

市長 補助金のチェックは妥当だと判断している。

問 戸別ヒアリングの経費として800万円を支出したが、対象者数と結果は。

都市整備部長 全地権者約350人に電話連絡や訪問を行った。そのうち、意向を把握できたのは約290人である。

問 この程度の調査になぜ、800万円もかかるのか。

都市整備部長 調査には延べ97人がかかわっている。

問 今回の質問のために資料を請求したが提出されない。何か隠し通そうとしているのではないか。市民に向いて仕事をしているのか。

都市整備部長 今思えば早く提出するべきであった。

市長 しっかりと公務に取り組んでいると思っている。

問 9月定例会で可決した1億2600万円の補助金については、議会にも特別委員会などをもつ責務があるが、補助金の使途をチェックする機関を担当部署の外に設けてはどうか。

都市整備部長 補助金は実績報告書をチェックして支払う。内容に不足があればこれ以下の金額となる。

公共施設の既得権益

問 市民病院の食堂と売店の入居期間と、今後の選考方法を伺う。

企画政策部長 同一業者が43年間営業している。新棟の整備後は、プロポーザル方式による選考を検討する。

音声・点字

議会だより

目の不自由な方に、市議会の活動をお知らせする、音声版「声の議会だより」と「点字版ひらつか議会だより」を作成しています。ご希望の方はご連絡ください。

問　議会局（☎21-8791）

常任委員会の審査概要

都市建設常任委員会

議案9件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

主な質疑

●**議案第76号「平塚市営住宅条例の一部を改正する条例」**

問 今回、東中原住宅に駐車場を設けるため条例を改正するが、市営住宅における駐車場の位置づけはどうなっているのか。条例に駐車場整備に関する規定を入れるべきではないか。

答 平成8年の公営住宅法の改正を受け、駐車場の整備を先に進めてきた。駐車場設置を条例に盛り込むことについては関係部署と検討したい。

●**議案第83号「指定管理者の指定について（平塚市土屋霊園）」**

問 所在不明者の墓地の対策は指定管理者になっても引き継がれるのか。

答 これまでも立て札を立てるなどの対応はしているが解決していない。新しい指定管理者は、横浜でも墓地の指定管理業務をしているので、そちらでの対応方法を参考に解決していきたい。

●**議案第84号「指定管理者の指定について（平塚市営住宅及び共同施設）」**

問 指定管理の導入後、住民の問い合わせにどのような体制で臨むのか。

答 指定管理者の対応に関する入居者からの意見は、毎月の会議の中で事例を指摘し、そのつど改善している。苦情などの対応については、市の問題、共用部分の問題にかかわらず、指定管理者が受け止めて市へ連絡する体制を徹底していきたい。

環境厚生常任委員会

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

主な質疑

●**議案第79号「平塚市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」**

問 市民病院の診療科目に消化器外科と血管外科を新設した理由は。

答 消化器外科と血管外科は、現在も外科外来で診察しているが、診療科を分かりやすくするために新設した。

●**議案第81号「剪定枝（せんていし）資源化施設の整備運営に関する事務の委託に関する協議について」**

問 事務委託の概要と本市の負担額を伺う。

答 1市2町ごみ処理広域化実施計画に基づき、平塚市、大磯町、二宮町の一般家庭などから排出される樹木の枝などをチップ化して外部で資源化するため、二宮町に新たに施設を整備し、運営事務を二宮町に委託するものである。本市の負担額は、人口割、処理量割で案分すると、15年間毎年4600万円ほどと想定している。

●**議案第88号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」**

問 老人福祉費の在宅医療推進事業費が新たに計上されたが、事業を進めるまでの経緯は。

答 この事業は、在宅医療を提供する機関との連携体制の構築と医療福祉従事者の多職種協働を進め在宅医療の充実を図るものである。今年度、医療連携懇話会を立ち上げ、地域での医療と介護の連携、課題などを検討してきた。医師会と計画内容を協議して進める。

問 新エネルギー普及推進事業費が補正計上されたが、エネファームや太陽光発電システムの普及における目標値達成後の取り組みは。

答 エネファームについては、平成26年度の段階で補助の内容、件数などの見直しを考えている。太陽光発電システムについては、発電だけではなく、省エネや蓄エネの分野についても総合的に考えていく予定である。